

## 和爾町住民説明会会議録（全文）

平成27年7月25日（土） 午後7時30分～10時 場所：天奈会館

市側出席者：並河市長、川口特命参与、井上課長、山下係長

### 天理市長資料説明

地 元：天理市の総合計画について。その時に入っていたのでないですか。市長は今2年4カ月その前からあったんですか。

市 元：正確には今持ち合わせておらず申し訳ございませんが、私が就任した時に新設したら幾ら、長寿命化した場合は幾らと今後いつまでもつかいう事を市全体として考えられている状況ではありませんでした。

地 元：1億何ぼかかると言っているのに、もっと前から考えておかなければいけないのでは。

市 元：担当の事務の皆さんはしっかりやらないともたないですよと、前の有料化の話が一部出ていたわけですが、大きな問題であります、市役所全体として考えられている状況ではありませんでした。ただ率直に今の状況を聞きまして、毎日出るごみですので、市民の皆様方に今日から預かれませんが、処理できませんと市としては絶対言ってはいけない事があります。昨年度ずっと検討を重ね、地権者の方とも相談を重ね、3月の段階でリサイクル系のごみを別の所ですするという変更をしておりますが、県なりに相談するまでに校区の皆様には懸案を持って行こうという段階によりやくなったというところであります。

地 元：昨年の市議会でも問題となったのでは。

市 元：去年の市会で我々が校区の方に説明に行かせていただく直前に全体協議会の中で、これからこういう事を考えていっております。ただどういった枠組みでやっていくかは詰め切れていない状況でした。白川一帯で考えていく中で地元の方にお話しさせていただきたいというのがスタートとしてあってというところです。元々平成26年の時点では、長寿命化という事で決められていました。

地 元：市として5年計画、10年計画としてなかったのですか。

市 元：大まかなものでして、ただその中で全体の中で、長寿命化というのであったわけです。ただ本当に値段を計算したんですかと、それを行った場合にも15年後には止まってしまおうんですよと、その後の事は考えているのですかという事を内部で詰めていった時に、見積額も全然違えば、あるいは新設の所については、全く具体的な所には至っていないという中で、これまで市役所の職員が色々と検討してきたというところがありましたので、それを下地として新設という道はないのかという事を検討したわけです。

地 元：今聞いていますと、白川ありきというふう聞こえますが。候補地と書いてありますが、候補地ならもっと他にもあるのですか。降って湧いたように聞こえるが。もう決定みたいな感じだ。破棄せよこれ。

市：これは環境の評価をやっていかないと、建設はできないわけですので、建設地とはかけないわけですし、予定地といいますか、ここでやった場合にはどういう事が有り得るんだという事を、建設の前段階の事である事はその通りであります。

地 元：候補地を提示してほしい。検討した候補地あるんでしょ。地権者とあるが、地権者の同意とはどういう形か。

市：借地とする事を前提に、借地契約を締結すれば、賃料が発生してしまうので、まだ建設という形で動き出していない中でお金を払うのかとなってしまうので、そういう事を将来やってくる事を前提に、皆さんと協議をしないとイケない。地元説明もそうですし、その手続きをしていいというような事を地権者と話しております。出ました候補地としましては、田原本町と協議した部分、あるいは現在の嘉幡の敷地の拡張、福住、こういった所を検討したところでありますが、ただ資料1でお示した条件に適ってくる所が現状ここ以外になかったという事です。

地 元：例えば福住の工業団地で焼却施設を民営化するとか考えなかったのですか。

市：福住の団地としては、メガソーラー用地として契約している状態です。ただあの地がなぜ今まで、工業地としていながらどの企業も来られなかったのかという事ですが、あそこに施設を建設しようとする相当大規模な造成をしなければいけないという事があり、何億という莫大な費用が必要となる為に塩漬けになっておった訳であります。一時は地形にとらわれないというところから霊園というのが検討に上がったようですが、実際には霊園ですら実現には至らなかったというところです。それがメガソーラーという話が就任直前に合意なされ、先般建設に着手されているという状況です。

地 元：名阪の南で山中のゴルフ場の辺りを買収されたらどうですか。これ天理教借地を50年借地した場合、どれだけ借地料を払わないといけなくなるのか、買収した方が安上がりではないかと。

市：今後路線価等を基にして協議を行っていかないとイケないところでもあります。私共としては、ここではないという意見が先程頼出ていますが、何故来てもらったら困るという部分があると思います。例えば空気が心配であるとか、水が心配であるとか何が故にここでは無く他を模索されるのかという所についていうのを・・・。

地 元：市長、あんた開き直ってんのか。今の言葉、あんたは造って何が悪い、造って悪い材料言えって言うてんのか。

市：我々として、ご心配な点についてお答えをさせて頂く為にも教えて頂ければと思う所でございます、それは市の中のイメージで言えば、来てほしいか、迷惑施設と世の中で呼ばれていないかというふうに・・・。

地 元：そしたらあなたが和爾町の住民であれば、建設を賛成しますか。

市：仮定の話ですのでなかなか言っても信じてもらえないかも知れないが、私は資産がないので、マンションに仮住まいしていますが、住む事について全くそれを否定的に捉えませんが、なればこそ、実際に周りにおいて住まいされている所がたくさんありますので、今から出来ていく際説

も、すぐ傍でマンションが建つという所もあります。

地 元：それは理屈です、私の所は予定地の近くに多くの土地があります。仮に施設が爆発するような事があればどうするのですか。原爆と一緒にですわ、絶対ないとは言えないのではないですか。

市：今後きちんと数字的なあるいは詳しい構造的なものを含めて説明する機会を設けたいと考えています。ただ今までの東日本大震災や阪神大震災でもクリーンセンターの施設が地震を受けて爆発するというのは事例としてありません。阪神大震災の時に高速道路が倒れた映像がありますが、近くに実はクリーンセンターがありました、一部ガラスが破損した程度であるという事です。

地 元：そんなん言うけど断定できるか。本当に安全ですか。

市：我々といたしましては、きちっと基準に合致したものを建てていくという事しか申し上げにくいのでございますが、ただそこについては市民の皆様のごみを焼却する施設というのは、いずれかの所かで必要です。今まで皆様のお出しいただいているごみについては、嘉幡の施設で処理させていただいているところです。この公民館の所まで約1キロ程度だと思っておりますが、もっと近くに土地をお持ちの方もいらっしゃるかと思っておりますが、これまでのクリーンセンターは4キロか5キロ程度離れているかと思っておりますけれども、いかかでしょうか。

地 元：村のイメージも悪くなります。土地の評価下がる。和爾、焼却場ある所と思われるのと違いますか。

市：三鷹市の方にも行きましたが、周辺のインフラ整備を行っていく中で対応していく必要があると考えております。今の道路というのは、非常に立派な橋なんかもかかっておりますけれども、市民の皆様の利用実態としては、ほとんどない中で、これから非常に大きなメンテナンスなんかもやっていかななくては今のあの辺りの道路を維持していくのも困難であろうと考えています。これは本当に奈良県にとって非常に大事な施設という事になって参りますと、公費を投入という事も可能となってきますので、グラウンドなのか、福祉施設なのか、どのようなものを組み入れていけばいいのかという事を皆様方と今後協議していきたいと考えております。現在のクリーンセンターの周辺となると、嘉幡、小島、庵治、合場、田原本八田となっておりますが、なので、合場であるとか、井戸堂の新興の所に住みたくないというふうな方に出くわしていないというところです。

地 元：高級住宅街に焼却施設ってあんまりないでしょ。高級住宅街になってもらいたいのです。そこへ焼却場造ったら外れてしまう。

市：自然公園等の中で造っていくのは難しいですが、既にシャープさんの横にあり、工業地域の一角の隣でありまして、名阪から見ましても、原生林を切り開いてという事になれば大きく変わってくる事になりますが、今現在シャープさんの工場があり、上の所についても今何かがあるというわけではなく、切土をやって平らになっているという状況でありますので、景観等の観点からも劇的に変わるという事がないように緑で囲む等して、外観上としても現在のクリーンセンターは如何にもというような施設ですけれども、環境に優しくデザイン的にもしっかりしたものにしていかないといけないと考えているところであります。

地 元：完成はかなり先ですね。そうすると市長は天理にいやらへん。国政に行かれるか、奈良県知事に行かれるかそれはわからないですが、そうなるど誰が責任をもつのですか。

市：4年に一度皆様に審判をいただかないといけない身ですので、例えば本件の進め方等において、市民の皆様の信頼を失って、後2年数カ月後に首を切られる可能性というのはゼロではないのですが、今現在の仕事についてステップアップの為にしているわけではございませんし、仕事をさせている中で最大の責任はここのごみ焼却を造りあげ、天理市に持続可能なごみ処理体制を作りあげる事であると思っております。私自身としては責任をもってやり遂げたいと考えております。

地 元：今現在、天理市も含め4市町村でごみ処理を行っていると思いますが、公平性の観点から他の3町村にあたるような事はしなかったのですか。イメージ的に悪いというのは、誰の目にも明らかだと思えます。天理市のここに持ってきて、まだ広域化を図るという事ですか。これ見ると4市町村以外にも広域化を図るという事ですね。

市：クリーンセンターである以上、4でも5でも仮にイメージという事であれば、劇的に変わるという事ではない。施設の運用の効率性、費用面を考えれば、広域化が必要と思えます。奈良県の場合は市町村の数が非常に多く39団体あります、滋賀県と人口、面積がほとんど同じなのですが、ほとんど倍に近い焼却炉の数がございまして、現在25ございます。その全てが古いもので非効率な状態でちょっとずつちょっとずつやっている。これは天理市民も奈良県民ですので、奈良県全体の運営においても非常な圧迫になっている、平成の合併が進まなかった理由は色々ありましたが、市町村の枠を越えてやっていかないとそれぞれがもたないという時代となっております。天理市もかつては6つの町村が合併して成立したのですが、旧二階堂村がごみ処理は旧二階堂村だけでやりますという事でしたら、我々は困っていたかなと思えます、私は市町村の枠というのは絶対なものではないと思っております。下水等に関しては、浄化センターの所、下流の所でお世話になっているというところ。し尿の処理についても出来た時には、今ほどいい施設ではございませんでしたので、下流域にもご迷惑をおかけしていたのでございます。そのような中で周辺の自治体と協力してやっていきたい、ただ実際にやっていく中で車が沢山来て市民の皆さんにご迷惑をおかけするとかいう事があってはいけないと思っておりますので、搬入については、名阪をちゃんと通行して下さいねと、そんな中で県も県内で一番重要な広域化という事で、県の負担もいただき、奈良県の取り組みとして行っていくという事を知事にも表明いただいているというところがあります。

地 元：基準的にもクリアできる施設を造っていくという事であれば、今現在嘉幡の方に迷惑かけているのは事実でありまして、それならば、地域も含めて、嘉幡の現施設の周辺の皆様に協力をお願いする事はできませんかというのは、24号線には奈良交通の生命線というので走っているのであって、広域化というのは、西の方からも運んでくるという事ですね。西名阪から運ぶとなると西和地域から運んでくるという事ですね。京奈和の側道も段々と出来てきたわけですし、それから名阪通ってもいい事ですし、なおかつ天理王寺線というのも今河合町までは出来ていると思えますがそれが出来れば三宅、川西町なんか交通の便がよくなるかと思えますが、このような大きな施設を造るにあたって、小島、合場にどの程度説明にいったのか、汗をかいたのか、その辺はどうですか。

市：まず3月に説明に来させていただいた時にも、し尿処理施設については、持って来るという事にはなっておりませんでした、現施設がまだ十分使える状態ですので、嘉幡西、小島及び

周辺地域の皆様に引き続きご協力をいただきながら運用していかなければいけないというところでございます。リサイクル関係、粗大ごみであるとか、びん、カンですとか、その破碎施設についても古くなっておりますので、更新が必要になってくるのですが、白川周辺にリサイクル施設を持って来るといふ計画は現時点では取り下げている状況です、リサイクル施設についても1万㎡程の広さが必要と見込んでいますので、この樺本周辺にはないと、今後も検討していかないとはいけませんが、現状リサイクル施設については、引き続き嘉幡西、小島周辺の現施設の所でお願ひしていかないとはいけな可能性というものが残っております。ただそれについては決まった段階で先に地元の方に説明に行くという形の筋を通さないといけなと思っております。仮にリサイクルの方をどかせたとしましても、また現在の敷地の中では、広域をしないとしても、現在の炉を動かしたまま新しい炉を造る為には、小島、合場の方に土地を買い足さないといけなのですが、我々としても交渉を行う中で、生産緑地として認定を受けている所、また認定事業者として農業に取り組んでいただいている方がおられます、こちらにも周辺には農業をされている方の土地がございますが、当該土地については農地ではありません、一方あちらについては、買い足す土地が農業地でありまして、生計を専業で立てておられる方に辞めて下さいと申し上げなければならないわけですので、それを考えた時に、現時点で明確な用途がないというふうな地権者との間で共通の認識がある土地を候補地として参りたいと考えております。また、嘉幡西の所についても引き続きご協力をお願いしたいと考えております。し尿に関しては間違いなく現施設を引き続き使っていくという事になりますので、どこか1カ所に全てをお願いしていくという事ではありません。

地 元：広域化という事になりますと、いわゆる西和地域、人口密集地帯あちらの分が全てこちらに来るといふ事になるという事は天理がこれからずっと受け続けるという事になりますか。

市 元：人口が伸びている所というのは、例えば香芝市ですが、そちらは含まれておりません。天理市に比べて小さい市町村が参加されるという事でございます。ただ全体で28万人程度でございます。ただ天理市の人口よりもかなり大きいですが、一方でみれば奈良県全体ではそれだけ大事な場所という事になってくるわけですので、当然周辺の道路整備だけではなく、ここをしっかりとやっていくという事は県予算の中でも重視していただくと我々の中では思っておるところです。ですので、今後売電の利益も含めて、地元にもちゃんと還元していかないとはいけなという事と環境を守るという事と同時にやっていきたいと思っております。

地 元：基本的に11市町村というのはわからないのですか。

市 元：決まっておるのですが、それぞれの市町村さんも市議会もあればそれぞれごみの事業者さんもおられますので、事務組合を設立するまでの間にそれぞれの所で積替施設を造らないといけな、また事業者との関係ではリサイクル系のごみは自分の所で処理しますと言わなければならないという事をちゃんとと言わないといけな、そういう事を言うまでに天理市が言うという事は、やはりお困りになられるので、ここは枠組み以外については伏せておるといふ事です。実際には知事も出席いただいて6月に首長で事務的にどういったルールの下でこの広域をやっていくんだという、例えばきちっと積替施設は造って下さいであるとか、大きな車で持って来て下さいであるとか、今後環境基準もきちんとしていかなければなりません。地元振興についても天理だけでなく全体でやっていくので予算を見て下さいであるとか、議論をやるというようなキックオフをやらせていただいております、そこに集っておるといふのが11の市町村という事ですので、我々としては、この11の市町村のまま12月の議会といふものを迎えていくものだと、中には

調整の過程でやっぱり止めたという所は出るかもしれませんが、1万3千㎡程候補地の広さがありますが、これ以上大きな所が入ってくる余裕はございません。

地 元：11市町村というのは、今天理市民が7万弱だと思うのですが、何人くらいをカバーするものですか。

市：概ね28から30万人程度です。建設までに9年程度ありますので、その間、人口が減ってくるのか、ごみ量が減ってくるという事はあります。

地 元：今後人口が増えそうな地域ではないですか。

市：人口は今後、どこも減っていくと思われる所です。奈良県の中では例外的に香芝と生駒だけが増えています。

地 元：候補地としてはこの30万人が住んでいる所のどこかであればいいわけですね。

市：理論上はそうなってきますが、我々の炉がしっかりと動いている間に手を打たないといけないという事でありまして、まずは天理市民の皆さんにご迷惑をかけないという事が一番重要なところでして、その期間内に他の市町村で候補地をあげていただいて、環境影響評価に入らせていただくという状況にはありません。

地 元：排熱利用で発電されるんですか。

市：蒸気タービンを回して発電するという事です。

地 元：それは採算は採れるのですか。

市：川西市さんでは年間5から6千万程度の収益があります。三鷹市さんでは9千万程度というふうに聞いておりますので、メリットは出ていると思っております。規模からすると今後の電気買取価格にもよるのですが、数千万程度はあるだろうとは考えております。また熱を利用して、今まで多いのは温水プールが隣にあるというケースですが、これから農業に活用されるという所もございますので、これから5年間の環境影響評価と並行して、より有効に費用の面でも実態の面でも使っていけるのかというような事はご意見を伺いながら考えていかないとはいえないと思っております。

地元：発電だけに頼るといのはどうなんですか。

市：発電で採算が採れるという事でなく、補助率が3分の1から2分の1が変わるとい事と、売電ができるという事であって、採算が採れるという事ではありません。

地元：決して排熱で電気を起こすといのは、設備的にはあまりいい設備ではないと思う。熱エネルギーの使い方としては。

市：大震災起こりまして・・・。

地 元：市長さん、こんなに時間かかっているし、何で白川に持って来たのかだけ教えて欲しい。他はいらん。その理由だけ教えてもらったらよろしいわ。基本は買収だと思うが、なぜ、賃借地なのに持って来たのか。

市：底地を借りているというのは、県の施設でもありまして、樫原なんかのグラウンドについても借地だと聞いておりますし、それは状況によるものだと、今後地権者との協議の中で価格等も検討する中で買収という事になる可能性もあり得ますが、借地だからこういう施設は建てられないだとかというものではありません。またそれが過度に高い値段でそれが一つの地権者の所に沢山渡しているというような事になると、これはもう議会も通らないですし、市民の皆様との関係でも通らない事でございますので、賃料を設定するにしましても、路線価からきちっと算定して合理的な範囲内でやっていかななくてはなりません。なかなか1万㎡程度の土地というものが土地を使っている人との関係で、それをどかせてというような直接的な影響を及ぼさないように市として考えていった場合に他に適地がなかったという事です。山を大きく切り開いたり、幾らかかってもいいからと大規模な造成を行うとかすれば全く土地がないわけではないのですが、もちろんそうすればその過程で木を切り倒してとなると保水力が低下するのでありますから、また予算的にもそうですから、そういった事を考えた時に今の時点で造成がほぼ終わっている所というのが、これは周りの方々への影響、コスト面等々考えた時に私共としては、この地が今ある候補という事でございます。

地 元：何ぼ反対したとしてもダメという事ですか。

市：それは前に役員の方に説明させていただいたのですが、市の進め方として他の候補地はどうかと、川西市では地元皆様と委員会をつくって規制値を10分の1に設定して、それをみんなが見える所に掲示させていただくという取組を紹介させていただいたのですが、そういった事を市としてやっていけないといけない、またご不安に感じておられる皆様にできるだけ、今の嘉幡の施設というのは大分古いのですが、あれがあのままこちらに来るのかという懸念がある場合には、やっぱり新しいものを見ていただきたい、それを見ていただいた上でこんな施設だと、ただここをこう工夫してやってもらいたい、こうやってくれたら受け入れやすいのではないかと、またこういったものを合わせて作って欲しいというような事を今後我々が一方的にではなく、議論をさせていただきたいと思うので来させていただいているわけでございます。ただ市の方として率直にお詫びを申し上げないといけないと思っておりますのは、今の炉が使えるギリギリいっぱいの方に検討という事でなければ、寝耳に水という事ではなくて、もっともっと最初のどういった事を条件設定にするんだというところから皆様とご相談できたわけでありまして、今現在の状況では、3倍かかってもいいという決断をしない限り難しいと、その点については川西市さんの所でされた時も、最初の所、どこにするかについては行政で決定されたと、ただそこから先どういった施設にするかという所については、しっかりと議論させていただいたという事ですので、我々もきちっとやっていきたいとそうように考えておりました、今日は第1回という事で来させていただきというところです。皆様忙しいとは存じますが、視察の方に行ってください、また委員会の方にも参加していただければと考えています。何人どこから出ていただくという事は、また今後検討していきますが、そういった所で皆様のご意見をいただきながら、寝耳に水のところから、後付的な措置に見えてしまうかもしれませんが、我々として与えられた制約条件の中では、最善をつくしていきたいと考えておるわけでありまして。

地 元：この資料に出ている・・・PPMと出ているが、最近出来た施設ばかりですね。原発についても、出来た時は絶対大丈夫というような事だったと思うんですが、やっぱり地震なのか、津波なのか根本的な原因はわかりませんが、3年や5年経った施設の資料でしたらもらっても、30年、50年先に色々なものが出てくる不安がある。現在の数値としては信用できますが、その焼却場自体が未代までとなると、何か信用という意味でストーンと落ちない。

市：今実際に出ている数字はどういう数字かと言うと・・・。

地 元：それは分かっている。3年や5年のスパンで見た場合信用できるとしても、20年、30年、50年経った場合は問題が出てくるんじゃないかという事を言いたいわけです。

市：何の為に公表するかです。ただ数字を出すという事ではなく、ただ法令の基準を下回っているか、あるいは、皆様方と専門家の方々に入っていて決めて基準を超える事が無いかという事を常に皆様方に見ていただきながら運営をしていく為に公表をするという事でございますので、何れかの時点で仮に数字が基準より上回っているんじゃないかという事になった場合には、そこに改善措置を施さない限りは動かせなくなるという事になるわけです。そういったご心配に応える為にも、やはりしっかりやっていくという事ですが、放射能のように空気に触れば直ちに人体に影響を及ぼすというような恐ろしい物質が出てくるものではなく、我々の普段の生活の中から、我々のごみ箱の中から出てくるものが集まってくる施設なものです。

地 元：それは分かっていますよ。イメージの問題なんです。この村がそんな感じになりはしないかと。市長まだ若いからよう知らんと思うが、和爾というのは由緒ある村で、神社は奈良の大仏より古いから、こんなのを持って来てもらったら、良い物持って来てもらうのだったらいいのやけれどね、ごみの処理場やったら、いっぺんに村のイメージが悪くなりますから。環境とかそんな問題と違う。以前の問題です。墓を村の隣に作られるのと一緒です。かまわないですか。

市：私自身は特に問題はありません。

地 元：個人的に天理教から圧力がかかっているのですか。

市：何らかかかっておりませんし、地権者との間で個人的に何かという事は当然ありません。地権者が何か賃料で得をされるという事はございませんし、賃料の部分で何か高額という事になれば、議会で否決されるわけですので、私が今市長をさせていただいているからといって、議会の皆様であつたり、住民監査に耐えられないようなお金の使い方はできないのでありまして、私自身が地権者の方と特段何かあるという事はございませんが、率直に申し上げて要件を満たす土地を選んだ時に、地権者の方に何とかこちらで今後の奈良県全体の為、又天理の持続可能なごみ処理の為活用させて下さいというふうをお願いをしたという事ですので、人の口に戸は立てられないので仕方ありませんが、何か犯罪等の事でありましたら、あるいは汚職に類するような事でありましたら、いつでも首にさせていただいたらと思います。

地 元：土地が安い時代になぜ借地にするのか、腑に落ちない。購入しておく事が今後の天理市の為ではないか。

市：今後の地権者との協議によりますが、将来の負担額等も検討して、場合によっては購入する事



も有り得るのだらうと思います。ごみ処理施設というのはなくてはならないものでありまして、処理できる範囲の中でどこかにないといけないものでございます。

地 元：和爾町は全員反対です。昭和40年代には天理教さんから40数億の寄付をいただいていたと思うが、現在は10億程度ですが開きがもの凄く大きいけれどなぜこのようになったか、もの凄い減額になっているわけですね。それだったら1万から1万3千㎡の土地くらい寄付されてもいい話ではないか。

市：地権者との交渉ですが、我々としても財政の上では、寄付金に関しては出来る限り現状維持をお願いしたいというのが、市として率直な思いですが、これはもう戦前の反省に基づいて、公から寄付を強要してはならないという規定がありますので。ご理解いただきたいのは、中には自給自足の生活をしてごみを一切出さないという方もおられるかもしれないですが、ほとんどの方については、ごみというのは毎日の生活の中で出てきているものでございます、それを環境にできるだけ影響がないような形で処理をしていくというのが、これはもう我々が暮らす上で必ずついてくるものです。それを持って来る事によって、土地の歴史とか格式を汚したり、貶めるという事ではないと行政の立場でそう考えています。イメージ的な部分を我慢して下さいという事だけでなく、広域化する事によって市の財政の方も助かってくる事は事実ですので、どのようにすれば農家の皆様や、町の皆様の福利厚生につながっていくのかという、ただ何十億もする事をすぐにというわけにもいきませんが、しかしながら、一定の額は地元の振興の為に使っていかねばならないと考えておりますので、是非、町の中、校区の中で、和爾の発展、樫本の発展、皆様の生活が便利になる為に、地元の振興の為にこれはいるというものを市としても伺っていきながらやって参りたいと考えているところでございます。

地 元：天理市が他の市町村の為に場所を提供する事になると、それも白川ダムで近くで市有地でもない所に建てるという事を仰っておるわけですが、他に市有地、市が持っている負の財産はないのですか。

市：私共としては、要件を満たす市有地はないというところです。

地 元：他にないですか。福住の近くにないですか。市が持っている土地があるでしょ、山で。実際に市が持っている土地はおたくらが一番良く知っているわけでしょ。あなたが認識してないだけでいいですか。

市：私共の認識の中では造成を要しない土地というものはありません。また福住の方に持っていきますと運搬のコストも変わってきます。

地 元：変わらないですよ。山添もあるわけでしょ。名阪使われている訳でしょ。大して変わらないですよ。私は、市が持っている土地はないのですかと聞いているのです。教えて下さい。分からなかったら調査して下さい。

市：我々が調査をした結果、大規模な造成が必要でなく、山を切り崩したり、木を切り倒したり、法令の基準を満たす土地はないというような結論に至っています。

地 元：周りに木があれば逆に環境に良いのではないですか。ここは、擁壁以外何もないですよ。裸の

状態になるわけでしょう。裸状態で何階建てというものが建つはずでしょう。

市：周辺から見た時の配慮はやっていかななくてはいけないと思っております。

地 元：どういうふうな計画されるのか私知りませんが、市の土地はないですかという問いにお答え下さいよ。

市：総合的に見た時に、我々として適地はないという事です。

地 元：絶対はないですか。市の土地は他にないですか。手に余している土地はないですか。賃貸契約してまでこの土地にすぎる意味はあるのですか。

市：あると思っています。

地 元：市の持っている土地他にあるでしょと言っている。

市：福祉センター周辺の事ですか。それはグリーンテクノの事を仰っていますか。

地 元：グリーンテクノってどこですか。

市：福住のインターから、ダムへの道をやすらぎ園から菅原寄りに行ってゴルフ場の横です。そこについては、メガソーラーになる予定になっております。

地 元：そこがソーラーですか。

市：メガソーラーという事で契約済みで、工事に入っている状況です。

地 元：提案ですが、そこその時間になってきていますし、今日1時間強にかけて初めて市長から説明もあって、色々質疑も出ています。今日で終わりという事でもないような事を市長も仰っておりますので、この辺で終わられたらと思いましたが、どうですかね。これで終わらせていただきたいと思えます。

以 上